

# 安全で快適な職場に

## 県産業安全衛生大会 建災防支部が表彰

建設業労働災害防止協会 県支部(石津健光支部長)などの県内労働災害防止団体は2日、2024年度の県産業安全衛生大会を水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で開催した。約350人が参加し、労働災害の防止や職場の健康確保などに尽力した個人や企業、職場などの表彰を行ったほか、大会宣言を採択し、安全、健康、快適な職場づくりの推進を誓い合った。

冒頭、茨城労働基準協会連合会の高輪会長が「10月1日から最低賃金が52円引き上げられ、一時間当たり1005円となったが、人材確保については賃金の引き上げだけでなく、適正



高輪会長

な労働時間の管理、有給休暇の取得促進、労働者のスキルアップや学び直しの機会提供など、多岐にわたる課題への対応が求められる」と述べ、「この大会は皆さまが課題をあらためて確認し、今後の取り組みへの決意を共有する場」と話した。

表彰式では、茨城労働局の澤口浩司局長や建設業労働災害防止協会県支部の石津健光支部長、建設関係の企業や個人に賞状を授与。

受賞者を代表して、大和ハウス工業竜ヶ崎工場の中村恵伸工場長が「災害撲滅は不変の目標、安全は社会との約束」を基本方針に掲げ、働き方改革および2



澤口茨城労働局長



産業安全衛生や働き方改革への理解を深めた

024年問題に対応し、働きやすい職場環境づくりを進める」と謝辞を献じた。

来賓あいさつでは、澤口局長が「安全で健康的に働くことができる職場づくり



長谷川県産業戦略部次長

を進めるためには、皆さまのノウハウや知識を展開し、全体の取り組みを向上させていくことが大切」と伝えた。

大井川和彦知事の代理で、県産業戦略部の長谷川克己次長は「県では働く方が活力を持って働けるように、職場環境の改善に熱心に取り組む企業を優良企業として認定している。先月末で約200



大和ハウス工業竜ヶ崎工場の中村工場長が謝辞

社となる。1社でも増えるよう、環境整備してまいりたい」と語った。

講演では、茨城労働局健康安全課の杉山満課長補佐が「最近の安全衛生行政」について説明したほか、防災科学技術研究所主任研究員の加藤亮平博士が「線状降水帯」について解説した。

建設業関係の受賞者は次の通り(敬称略)。

【茨城労働局長表彰】(優良賞)

- ◆ 大和ハウス工業竜ヶ崎工場
- 【奨励賞】
- ◆ 関東道路(筑西市)
- 【功績賞】
- ◆ 大野豊(元コンクリート製品製造業災害防止協議会会長)
- 【建設業労働災害防止協会県支部長表彰】
- 【事業場賞】
- ◆ 藤和建設(日立市)
- ◆ 小桜建設(石岡市)
- ◆ 白田工建(桜川市)
- ◆ 茂木工務店(潮来市)
- 【現場賞】
- ◆ 宇都木建設(古河市)
- ◆ 生田目土務店(常陸太田市)
- ◆ 弓野組(常陸大宮市)
- 【功績賞】
- ◆ 山田実(三国屋建設 神栖市)
- 【職長賞】
- ◆ 菊地政行(椎名工務店、大子町)